

医師の歯科医 苦しみ



医師・歯科医は治療(キュア)の限界で「治せない！患者を救えない！」という無力を感じたり、自分のやっていることが無意味に思えることがあります。これら無力・無意味といった苦しみは、実存的苦痛(スピリチュアルペイン；自己の存在と意味の消滅から生じる苦痛¹⁾)に分類されます。スピリチュアルペインは終末期がん患者だけでなく、日常を生きる医師も体験することがあります。そして治せなくなった担当患者の苦しみの現場であるベッドサイドに行きづらくなる現象も報告されています²⁾。しかし、多くの医師・歯科医は「自分が何に、なぜ、どのように苦しんでいるのか？」という自覚が乏しく、医療上のジレンマと患者・家族の切迫した苦しみに直面し、さらにスタッフの「先生何とかして！」の板挟みにあいつながら、逃げ場のない孤独な対応を迫られることがあります。

2025年10月19日に開催される対人援助・スピリチュアルケア研究会の第18回大会の中で、このテーマのパネルディスカッションを行います。治療医や緩和ケア医からスピリチュアルペインの体験談を紹介してもらい、「その苦しみがなぜ生じるのか？」「その対策はなにか？」をディスカッションします。

1 Murata H. Spiritual pain and its care in patients with terminal cancer: Construction of a conceptual framework by philosophical approach. Palliat Support Care 2003; 1: 15-21.

2 的場康德、村田久行、浅川達人、森田達也。がん患者の終末期医療に携わる医師の実存的苦痛(スピリチュアルペイン)とその構造。Palliat Care Res 2020; 15: 321-9.

2025年 **10月19日** 日

対人援助・スピリチュアルケア研究会第18回大会

触れるケア・聴くケア

～「生きる」を支える援助～

・・・詳しくは研究会ホームページまで・・・

—— パネルディスカッション「医師・歯科医のスピリチュアルペイン」タスクフォース ——

石井浩二…長崎大学病院・緩和ケアセンター

小玉哲史…いまきいれ総合病院・緩和ケア内科

坂元昭彦…鹿児島厚生連病院・消化器外科

澤田弘一…鏡野町国民健康保険上齋原歯科診療所・歯科

末次隆行…南風病院・呼吸器内科

刀塚俊起…真生会富山病院・血液内科

濱田朋紀…鹿児島大学病院・産婦人科

松下格司…いづろ今村病院・緩和ケア内科

的場康德…鹿児島大学大学院・消化器外科学

お問い合わせ

対人援助・スピリチュアルケア研究会 大会企画委員会

メール：taikai-kikaku@sp-c.org



特定非営利活動法人

対人援助・スピリチュアルケア研究会

